

平成 29 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 ア ス ク ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 岩田彰一郎
(コード番号:2678 東証一部)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 執行役員 CFO 玉井 継尋
TEL 03-4330-5130

固定資産の譲渡および特別損益の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 11 月 8 日の取締役会において、下記の固定資産を東急不動産株式会社（本店所在地：東京都渋谷区道玄坂一丁目 21 番 2、代表者の名前：代表取締役社長 大隈 郁仁、以下、「東急不動産」）が出資する特定目的会社（以下、「SPC」）2 社に譲渡することを決議し、本日付で譲渡契約を締結いたしました。それにともない、平成 30 年 5 月期第 2 四半期連結決算において特別損益を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 固定資産の譲渡

(1) 譲渡の理由

この度、東急不動産より、下記の ASKUL Logi PARK 首都圏と ASKUL Logi PARK 福岡について、SPC を設立した上で現状有姿で買い取り、火災により大きな損傷を受けた ASKUL Logi PARK 首都圏については全棟解体・新築した上で、両物流センターを当社が賃借する旨の提案を受けました。

当社としては取締役会で検討の上、

- ① 火災により大きな損傷を受けた ASKUL Logi PARK 首都圏を修繕した場合、将来の瑕疵のリスクを否定できず、今回の提案はそれを払拭できること。
- ② ASKUL Logi PARK 首都圏を新築することによって、最新の防災設備の導入等を推進し、より安心安全な物流センターの構築ができること。
- ③ 今回の火災を契機に「持たざる経営」へ回帰するとともに、当該 2 物件を含む物流施設のアセットマネジメント事業を営む株式会社 eco プロパティーズ（本店所在地：東京都港区西新橋二丁目 8 番 12、代表者の名前：代表取締役社長 片地 格人、以下「eco プロパティーズ」）を連結子会社として新設することで、ロジスティクス事業の黒字化および将来にわたって収益拡大が図られること。

以上の 3 つのメリットを認識し、東急不動産と協業し、安心安全で地域に貢献できる物流センターを共に構築、運営していくことを決定いたしました。

(2) 譲渡資産の内容

資産の名称および所在地	譲渡価額	帳簿価額	損益への影響	現状
名称：ASKUL Logi PARK 首都圏 所在地：埼玉県入間郡三芳町 上富 1163 土地 敷地面積 約 55,062 m ² 建物 延床面積 約 72,126 m ²	98 億円	134 億円	固定資産売却損 36 億円 および 火災損失引当金 戻入額 68 億円	火災後 休止中
名称：ASKUL Logi PARK 福岡 所在地：福岡県福岡市東区 みなと香椎二丁目 2 番 1 土地 敷地面積 約 24,905 m ² 建物 延床面積 約 54,842 m ²	106 億円	61 億円	固定資産売却益 44 億円	稼働中

(3) 相手先の概要

ASKUL Logi PARK 首都圏の譲渡先

名称	三芳町プロパティーズ特定目的会社	
所在地	東京都港区西新橋二丁目 11 番 8 号	
代表者	取締役 志村 光平	
事業内容	資産の流動化に関する法律に基づく資産流動化計画に従った特定資産の譲受け並びにその管理及び処分に関する業務 その他上記特定資産の流動化に係る業務に付帯関連する一切の業務	
資本金	100 千円 (平成 29 年 10 月 6 日現在)	
設立年月日	平成 29 年 10 月 6 日	
大株主および持株比率	一般社団法人三芳町ロジ	100% ※平成 29 年 11 月 20 日までに東急不動産からの優先出資を受ける予定です。
当社との関係	資本関係	特筆すべき事項はありません。
	人的関係	特筆すべき事項はありません。
	取引関係	特筆すべき事項はありません。
	関連当事者への該当状況	特筆すべき事項はありません。

ASKUL Logi PARK 福岡の譲渡先

名称	香椎浜プロパティーズ特定目的会社	
所在地	東京都港区西新橋二丁目 11 番 8 号	
代表者	取締役 志村 光平	
事業内容	資産の流動化に関する法律に基づく資産流動化計画に従った特定資産の譲受け並びにその管理及び処分に関する業務 その他上記特定資産の流動化に係る業務に付帯関連する一切の業務	
資本金	100 千円 (平成 29 年 10 月 6 日現在)	
設立年月日	平成 29 年 10 月 6 日	
大株主および持株比率	一般社団法人香椎浜ロジ	100% ※平成 29 年 11 月 20 日までに東急不動産からの優先出資を受ける予定です。
当社との関係	資本関係	特筆すべき事項はありません。
	人的関係	特筆すべき事項はありません。
	取引関係	特筆すべき事項はありません。
	関連当事者への該当状況	特筆すべき事項はありません。

(4) 譲渡の日程

取締役会決議日	当社：平成 29 年 11 月 8 日 東急不動産：平成 29 年 11 月 9 日
契約締結日	平成 29 年 11 月 9 日
物件引渡日 (決済日)	平成 29 年 11 月 20 日 (予定)

2. 特別損益の計上と今後の見通し

(1) 特別損益の計上

上記のとおり、ASKUL Logi PARK 首都圏の火災損失引当金戻入額 68 億円と ASKUL Logi PARK 福岡の固定資産売却益 44 億円、合計 113 億円を特別利益として、ASKUL Logi PARK 首都圏の固定資産売却損 36 億円を特別損失として、平成 30 年 5 月期第 2 四半期連結決算において計上する予定です。

(2) 今後の見通し

① 平成 30 年 5 月度連結業績予想数値の修正（平成 29 年 5 月 21 日～平成 30 年 5 月 20 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	365,000	3,500	3,000	1,500	29.47
今回修正予想 (B)	365,000	3,800	3,500	4,000	78.59
増減額 (B - A)	0	300	500	2,500	
増減率 (%)	0	8.6%	16.7%	166.7%	
(ご参考) 前期通期実績 (平成 29 年 5 月期)	335,914	8,865	8,866	1,014	19.75

② 業績予想の修正の主な理由

上記の「1. 固定資産の譲渡 (1) 譲渡の理由」に記載の通り、連結子会社の eco プロパティーズを新設し、新たな収益を得ること等により、営業利益および経常利益を修正いたします。

また、上記の「2. 特別損益の計上と今後の見通し (1) 特別損益の計上」に記載の通り、固定資産の譲渡に伴い特別利益 113 億円、特別損失 36 億円を計上する予定であることに加えて、今期中に発生する可能性のある一部投資有価証券の評価損等について保守的に織り込み、親会社株主に帰属する当期純利益および 1 株当たり当期純利益を修正します。

※上記に記載した業績予想は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績予想は今後の様々な要因によって上記予想数値と異なる場合があります。

以 上